NPO法人 全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 Tel:03-5944-5250 Fax:03-5944-5290



発行日平成27年11月19日休 旅立ち

▼香川全国大会の模様

2面

4面

▼千葉なの花会「宿泊研修」・ピアサポ活動紹介

ー未来に希望の持てるひきこもり支援ー

開

催される

K

▼生活困窮者自立支援制度って何?

▼前編集長 伊藤進本部相談役よりご挨拶

枝実行委員長の開会宣言で 況な大会となり、「KHJ香 大会が開催されました。参 県オリーブの会」川井富 者が300名を超える盛 総合支援センター KH 丁香川 全国

幕を明けました。来賓の山本博司参議院議員からは「生本博司参議院議員からは「生活困窮者自立支援制度下に活困窮者自立支援制度下にはしていきたい」とのご挨促していきたい」とのご挨 子兵庫県立大学准教授によどもの変化」では、船越明基調講演「親の歩みと子 拶をいただきました。

セスについての説明がありどもの変化につながるプロり、親の心理状態の変化が子子兵庫県立大学准教授によ で、子ども自身が自分を責め、 本人の生き方に沿った包括療や福祉、生活や就労等)は、した。「ひきこもりの支援(医 微地域福祉課課長補佐から続いて、厚生労働省の日野 について行政説明がありま 「国におけるひきこもり施策」

参加のスタートラインへと なっていき、子どもの社会クスした元気の出る場所に 家庭が変化していく、この 大学大学院准教授からは
КHJ理事の境泉洋徳島 ような変化の過程について 一講演いただきました。 がリラッ

た問題を引き起こしている活困窮に代表される切迫しりの高年齢化・長期化が生 た。その一方で、ひきこもであることが報告されましの歩みの中で現在が躍進期 て、2001年からのKHJ KHJ16年の検証」と題し の狭間にあったひきこもりが生活困窮者予備軍としてが生活困窮者予備軍としてをこもりの相談にも対応する。本人の状態に応じたきめ細やかな支援として、生め細やかな支援として、生め細やかな支援として、生め細やかな支援として も応じていく必要があるこ活状況や人間関係の回復にめ細やかな支援として、生 労に至るように、訪問や居く将来の社会参加や一般就 援法にお と、期限を限定することな また

ことにも言及しました。

れました。

的な支援でなされていかなければならない。将来にわたって支える仕組みをどの人だけではなく家族も含めた包括的な支援を考えていく必要性を国も認識していく必要性を国も認識していかない。将来にわければならない。将来にわければならない。将来にわければならない。将来にわければならない。将来にわければならない。将来にわければならない。 においてこれまで制度に「生活困窮者自立支

していくことが大切な視点場所といった必要な支援を

者自立支援においてKHJができること」では、中垣会のもと、宮武将大氏(生きづらサポートnode代きがらサポートnode代生の司を代表)、坂本勲氏(高知県親の会代表)、坂本勲氏(高知県親の

だと思われ ます」 と説 明さ

ことが大切なことです。」と支援機関が手を携えていく しています。家族会、行政、くことが大切であると認識 視点を施策に反映してい「ひきこもり支援は当事者

シンポジウ 4 生活困窮

述べました。

えで、「ひきこもりの実態や 連携の重要性を強調したう とインフォーマルな支援の日野氏はフォーマルな支援 に広く知ってもらうべき」 KHJの実績を自治体など と意見を述べました。

豊田大地の会代表の土田氏名の参加者がありました。 の取り組み)」(居場所と中間的就労支援第2分科会「当事者支援 |当事者支援| には約80

た。

横山氏からはひきこも

開催していただきたい」とは美馬市でも研修や行事を さはあるが、ぜひ家族会にを紹介され、「地理的な難し 口でのひきこもり困難事例中村氏からは総合相談窓 フロアとの意見交換の後、

シンポジウム報告 香川全国大会の模様 院教授、藤江幹子氏(KHJ ・大葉県なの花会理事長)、高 ・大変中の保健師の方より ・た。竹森氏は、香川県のひ ・きこもりへの取り組みとし ・さ、オリーブの会やサポー 竹森元彦氏 りサポーター養成・派遣 事業の取り組み」 八香川大学大学行会では、講師の

第1分科会「ひきこも

第4分科会

兄弟姉妹の会

表と、日野課長補佐やフロ の各シンポジストからの 市社会福祉協議会課長補佐) アとの意見交換が行われま

事者・支援者による講演会やイベントなどについて、 を成研修について、委託を をはるまでの経緯や、研修 で「なの花会」が平成を で「なの花会」が平成を で「なの花会」が平成を がで「なのなどについて報告。 について、活動の指針や、研修 のおからは、高 なったサポーター派遣事業 が平成を がのおりました。

立場から、「早期発見、早期最初に宮武氏が当事者の

いきたい」と強調。続いて者のネットワークを広げてが必要。全国当事者・経験対応のための『つながり』 関係の回復を大切にしてい充などをあげ、「親子の信頼解やピアサポート体制の拡ひきこもりに対する深い理 親の会ができることとして、坂本氏が家族の立場から、 る」と話しました。

豊田大地の会代表の土田氏による農園等の居場所運営の報告と、NPOわかものいちは居場所の組織作りにがらは居場所の組織作りにがらは居場所の組織作りにがただき、「互いの生きづらさの状況を知らなける。土田氏のないただき、「互いの生きづらさの状況を知らなける。

連携力を学ぶ」運営のノウハウと地域

ぶれも多く見られました。参加し、支部長や役員の顔第3分科会には約50名が

入れて実現に至りたいと思若者たちのアイデアも取り り支援」が実践されるよう、 来に希望をもてるひきこも心・安全に暮していける「未 ひきこもり本人や家族が安 に配布する予定です。各地で、 全国のひきこもり相談窓口 イドライン」として作成し、 してきたひきこもり回復へ 取組みを「ひきこもりガ モノ・金)の集め方、未来 へのアイデアを実現させて 地域連携力をつけていくた は必要不可欠であり、地域 社会のニーズに合った働き かけの必要性が語られました。また へのアイデアを実現させてモノ・金)の集め方、未来実践ノウハウや資源(人・から、家族会運営に必要なから、家族会運営に必要な 代表)、NPO法人名古屋オ(山形県から・ころセンター から、家族会運営に必要なレンジの会の鈴木美登里氏 Η

いく先の民生委員との連会場からは、地域連携し

よく分かる分科会となりま 副代表の伊藤正俊氏

携がうまくいかない、ひきこもり問題への理解が十分でないなどの意見が挙がりいる支部もありました。社協などに直接出向き、家族協などに直接出向き、家族なの取組みを知ってもらいないかとの意見も出されまないかとの意見も出されま る節目にあたり、今後さら100周年を迎えようとす補佐から、民生委員制度は最後に厚労省の日野課長 した。 が、ひきこもり者の掘り起にひきこもりへの理解促進

KHJ理事からひきこもり の兄弟姉妹が直面している たいてKHJ本部で月に一 の居場所」の状況報告があ の居場所」の状況報告があ の居場所」の状況報告があ の居場がしている「兄弟姉妹 の居場がしている「兄弟姉妹 妹の会」

り当時ゲームを通じて知り 合った仲間と、テレワーク (ネットによる仕事請負)の などをお話しいただきました。当事者でもアイデアと た。当事者でもアイデアと 今までの経験やノウハウを 生かすことで、居場所や就 労の場を生み出せることが という言葉が印象的でしそれが支え合う真髄である」れば支え合いはできない。 「兄弟姉妹だからこそ、一番 身近な同世代としての関わ 度をどう活用していくか」 提示や、「親亡き後で社会制 をの意見が参加者間で共有 との意見が参加者間で共有 たからこその支え合いを大同じ家庭の中で過ごしてき 葉でまとめになりました。 切にしてほしい」という言

※第3分科会は、「地域コーディ あると述べられました。 しにつながることが重要で

ネーター」研修DVDとして全

いま、ここから、あるきだす。

http://www.khj-h.com

KHJ十六年の検証

において以下の事項を宣言する。 私たちは、第10回全代研香川大会

大会宣言

者団体「ひきこもり家族会」として全国の市町村単位 3 妹等の家族)が幸せに生きていくために、継続して創意 1 私たちは、ひきこもり当事者(本人及び親、兄弟姉 地域単位にまで活動が広がることを目指す。 工夫をこらして活動することを決意する。 私たちは、全国組織を有する唯一のひきこもり当事

1川全国大会 理事長挨拶

親の会(家族会連合会) 全国引きこもりKHJ

年は、当事者の声

が K H J

会も第10回を迎えました。今

0

の香川に於いて全国

にたくさん寄せられた年と

溜 佳

立支援法において、ひきこなりました。生活困窮者自

自立支援法」を活用することを決意する。 こもり当事者たち、次代の若者たちの意見を尊重し、 問題解決のために、ガイドラインを作成し「生活困窮者 からによった。がたちは、ひきこもり問題に対して意を表するひき、で表するひき、で表が近くを消失される。 私たちは、ひきこもり家族会が抱える多くの困難な

暮らせる共生社会が実現することを目指す。 することによって、地域社会の再生をはかり、安心して5 私たちは、以上の項目を幅広く産・官・民・学協動 に実行する。



窓口にピアサポーターと共家族会も、地域の自立相談

に繋がっていくようお願

て位置付けられております。

もりも関係性の困窮者とし

キャラバン・四香川」が開催きこもり大学KHJ全国 から始められたもので、 のひきこもり経験者の発案 日本財団助成事業である「ひ ひきこもり大学とは一人 香川全国大会終了後に、 目 私のひきこもり~ ~「対象関係論」で読み解く、 ペラーさん 「鬼は外!福は 落ちこぼれとなった高校 で、ひきこもり学科

ひきこもりの経験に講師・参加者それぞ とで、自分が落ちこぼれ=彼女の不安や悩みを聞くこ ぎて人生がうまく行き出し 生時代から一転、20歳を過 勝ち組」となった。しかし、 しまう。 戻されるのでは 「負け組」に引き

は自

改善を目指すこ

じて家族関係の を行うことを通 新しい意味づけ

とです。具体的

ひきこも

りの正体は、「勝ち組」の自 に出会い、自分のひきこも の後「対象関係論」 こもり状態に。そ 女に冷たくして とした後に、ひき ないかと思い、彼 バイトを転々 30 歳 の

を、本人・家族

なり考えや想い

り本人が講師と

を寄せる一般の方などが参支援者やひきこもりに関心 事者家族、ひきこもり本人、 くの方が集まりました。当会場には、総勢100名近 人達へ伝え、その後、参加やひきこもりに関心がある 士で対話を行います。 れるまでの経緯をお話しさひきこもり状態から回復さ でき、現実的になった」と、 身大の自分を生きることが 分も受け入れることで、等 たことであると気付く。 分を必死に守ろうとして 「不安な自分も、安心な自

加しました。

1限目:講師ラストエン

来 り、当事者の「思い」と「未 関係改善学科~ ″閉じこも ● 2 限 メンタルヘルス学部親子 目:講師Fixさん

30 日

がらの発表となりました。人のインタビューを受けなジャーナリストの池上さ り返った努力が実り、両者 意。子は自分のことを、親 合うこと、そして、父親と の関係に向き合うことを決 Fixさんは、自分と向き 分の子育てについて振

げています。 状態だったFixさんは、 の関係は回復。 | 閉じこもって、頑張って 少しずつ活動の場を広 閉じこもり

調で伝えていました。 ここにいる。1人でもいい 同士でグループをつくり感 穏やかにしっかりとした口 外に出ようとしている人が のグループで話しが盛りあ 想を話し合いました。多く ので力になれたらいい。」と、 各講師の話の後、 参加者

がり、休憩中も話が尽きな い様子でした。 最後に「初めて参加した

えられ、参加手続きをした 合計21人が研修に参加。 親9人、KHJ本部1人の きこもり本人 (青年) 11-寺に到着後は副住職に出迎 泊研修会を行いました。ひ 隅郡大多喜町の妙厳寺で宿 初日は天候に恵まれ、 2015年8月29日出〜 早速女性は夕食、 男 お 以外は全員日帰りの温泉行中野駅に移動し、直帰の人帰りはお寺から全員で上総 朝の行・朝食・反省会。起 まで交流が続きました。さ は副住職も参加し、夜遅く員で楽しみ、屋内交流会で 無事1日の行事を終了した。 禅・鐘つき・夕食・入浴・ 寺の日常業務に沿って、 スケジュール確認をし、 きられない人もいました。 年もいたようです。翌日は、 して、参加者の自己紹介と た。その後全員が一堂に会 らに明け方まで頑張った青 釜での御米炊きなどを始め 野外交流会では花火を全 |外交流会・屋内交流会と

とのことでした。 後別の温泉に入り、更に木 です。数名の青年達はそのビーの椅子で寝ていたよう てくるまで青年は全員がロ 更津のアウト きへ。入浴後女性陣が上がっ お寺を出発する前に全員 夜の8時頃に帰宅した

に、講師の思いが伝わったたい。」との会場からの感想 そこに自分も関わっていき ことに気付かされた。親たが、親たちが気付いてない ちの改善の場をつくりたい。 喜びと変化の芽吹きを感じ

た時間となりました。

スと捉え、十ヶ月という期師の正体を見極めるチャン しかし、農園に潜入した私 限付きでそれに合意します。 が見たのは、洗脳され、 に等身大の自分自身も受け るようになった私は、同時 度な失望をもたらす等身大 入れるようになっていった の松田氏を、徐々に受け入れ のだと思います。 た私は僧侶として 過ぎた2013年 農園での十ヶ月が 一月、実家に戻っ そんな実り多き

月には、住職になるのに必しています。そして今年八

2012年、香川オリーブ

の会を通し、松田勝氏のカ

自分は人格障害だと確信し、 国」で話した通り)から、

業に従事するひき

こえ、ビアガーデンでのバ

マジメか!

|beer supporter] と聞 だったこともあり、私には 41・0度を記録する暑い日

観測至上最高となる は高知県四万十市

ると思います」

居場所?

イトの斡旋かと思いました。

「今度研修が富山の宇奈月

虚ろな表情で農作

アウトリーチに行ったりも

したり、ほんの僅かながら

「ひきこもり大学・11中四 しかし、とあるきっか

田氏を王と崇め、

その合間に居場所活動に参

現在、私は僧侶をしながら、

ひきこもっていま

生とは別物)取得の為、本 要な「教師資格」(学校の先

が主催する学院に入学し

しかし、これが大きな期待ウンセリングを受けます。

過度に理想化してた。松田氏を崇め、

はありませんでし こもりの人達、で

0)

が開口一番、「ピアサポーターんど初対面に近い川井会長 出しました。そこで、ほと オリーブの会の例会に顔を そして同年八月、初めて香川 動を始めます。 を進める。時給や勤務地も をやってます」と自己紹介 んねん! たった今、「僧侶温泉であります」 何考えと 言ってない。そこ大事やろ? バハンは拙速にバイトの話 したばかりの私に、このオ

は違った生活が楽しめた。」 新米のご飯 とか、「 がお いし

等の意見をお聞きし、これ 解消された思いがしました。 までの準備の苦労も一気に KHJ千葉県なの花会役員 井上

参加したひきこもり本人

お

ら離れて心休まる一時をラジオ体操、日常の喧騒か 難うございました。 持って幸せでした。また参 分の気持ちが分からないの・外に出かけている間は自 加させていただきます。 携帯が圏外です。鐘つき、

面白かったです。また来た ・お経を読むのが歌と違って で素敵で、お酒の美味しさ 今回は秋のお寺という感じ でまだよく分からないけど、 て楽しかったです。 がわかって、みんなと話せ

不登校・ひきこもりの方も安心

第一学院高校は、

「自宅通信学習」で

高校卒業できる

iPad® miniを使っ

て学習(無償貸与)。

自宅学習と年1回のスクーリングで

メンタル面・進路面

のサポートも充実。

通信制高校(広域通信・単位制)

高校卒業。

※iPadは米Apple Inc.の登録商標です。

TEL 0120-761-080 www.daiichigakuin.ed.jp

全国50キャンパス (平成 27年4月時点)

学校です。

の参加で、体力や精神力は くようになってから初めて ・2年ぶり3回目 たと感じていましたので気 持ちの余裕が持てていまし 以前と比較すれば身につい なりました。社会に出て働

で参加の感想を発表したが レット等に寄

いです。 1の参加と

そこでは自分たちの食事

日常の生活と かっ

のお寺合宿としました。 しても最適だったので1泊 ゆっくり交流できる場所と 言われました。会員同士で える場所としてもどうぞと て、昼夜逆転のリズムを整 人や家族のシェルターとし つながりを広げる一つとし 織「寺ネットEN」の寺が 支援しているお寺さんの組 てきました。ひきこもりを て始まりました。当初は本 千葉県にあることを知り、 宿を12年の間に8回実施し 千葉県なの花会では寺合

なく、peerによる、ノンア でも、研修では実際「beer ルコール、プリン体ゼロの のにわざわざ温泉で研修? でした。ちょっとがっかり。 真面目なサポート活動の話 ですか?」「主に居場所にな て?セルフでええやん。な 真面目でした。 beer では 研修の後はどこでやるん お店じゃなく の佇まいと出迎えていただのは森林の木々に囲まれた 日常と違う体験は格別です。座禅や夕方6時の鐘つき等、 そして何よりも素晴らし を過ごし、五感を動 らぎます。もう一つは電波込む雰囲気には気持ちが和 らぎます。もう一つは くお坊さんのすべてを包み 炊いて分担、交代、協力をを沸かし、かまどでご飯を やら生活のことを皆でしま にあります。お経・説話・ の人との自然な交流がそこ する。親も青年も家族以外 まきを割りそれで風呂

います。有難うございま 場となりました。そして今 で色々でき、よい息抜きの 他愛のない話や真剣な話また。深夜に酒を飲みながら たら再び参加できたらと思 た(笑い)。次回、機会があっ すかったことが助かりまし 回はとても涼しく過ごしや

想到我

・働くための一歩が踏み出せない ・自分らしい働き方を見つけたい。 ・人間関係につまずき働く自信を失っている。 ・仕事をすぐに辞めてしまう。仕事が続かない。

あなたの「なんとかしたい」に応えます



ねりま若者サポートステーションは、厚生労働省から委託 された15~39歳の若者のための就労支援機関です。 支援コーディネーター等のスタッフが、あなたの思いを 「カタチ」にしていくお手伝いをします。

認定NPO法人

®定NPO法人 なりま若者サポートステーション なりま若者サポートステーション Tel: 03-5848-8341 Fax: 03-5848-8361 〒179-0074 東京都練馬区春日町4-16-9 春日町青少年館3階

E-mail: nerimayss@npobunka.net URL: http://kyodonet-nerima.net

03-5944-5720 火・木 PM1:00~5:00 「楽の会リー 祝日休み

J 厞 ナ

(親の句) 毒が抜け 時が来て 昔の面影 息子変わりて 天高く 秋の空

(息子の句) ・宝クジ 人生かえて イナバウア

「人生を一発逆転リセット 「人生を一発逆転リセット るしかない。当たった 奨学金や住宅ロ コン るのが当面の日本人は東京に行ってレバ たら(両 をまず 。本人が少し前に作っが当面の目標とのことは東京に行き、生活す 東京に行き、生活すつプレゼントする。」 回親)に好きな車を 一番に返済し、あん

月1日から就労す るよ

告してくれています。 社の様子を毎日、両親に報社の様子を毎日、両親にす。会 うになり、1ヵ月が経ちまし **%**

た川柳です。

念!)。電波、情報のないと されることです(2年位スマフォ、テレビから隔絶 ころでゆったりとした時間 前からドコモだけ通じて残 が届かないので携帯電話、 い機会になっています

く風で自身が主催する「ポ 外れでした。失望し、落胆 何考えとんねん! レポレ農園」へ誘います。 する私を、松田氏はどこ吹 障害の特徴です。 的でも絶望的でもない、適農園で過ごすうち、理想 き下ろす。この流れは人格 想化し、それ故失望し、こ いたのは私の方でした。理

ば二年後に卒業となります。

信教育、毎月課されるレポー 京都でのスクーリングと通 ました。これから年二回

居場所でもやりたいです。 support」大会もあったり して楽しかったです。是非、

KHJ愛媛県こまどりの会

維持できなくなっ の進む中で年金 ジョン)を目 援(ソーシャル・インクル・ 指すことが理

悪化や人生の節目・節目で現在の日本には社会環境の ままならないシングルマ んで仕事を捜す若者…。 ネットカフェに住み わらず、誰もが安心して地経済状況や心身の状況に関 ができる、それがこの制度域で生活を営み続けること 念として掲げられています。

くありません。

本人や家族も ついて相談がていることに この制度を利 用して、今困っ

化にある場合、生活上で様々 福祉事務所が設置してあ に長期高年齢 できます。 6.1

くこと、つまり包括的な支にある人の相談に応じてい 者や障がい者といった分野も対応していくこと、高齢 った制度と制度のすき間 の法制度から漏れてし られています。従来は様々ター」などの名称)が設け 窓口(「自立相談支援センる市町村には必ず総合相談 困窮に陥る人が少な起きる諸問題で生活

る場合が少なくありません。な問題を抱えてしまってい

の貧困(社会的な孤立)にひきこもりなどの人間関係だけでなく、独居高齢者や経済的な貧困に対応する みを定めたものです。 に対応していく仕組 生活全般の困りごと 援制度は、こういった 生活困窮者自立支

復の上での生活上の困りご とに対して、一人ひとりの 状況に応じたライフプラン むところがないといった、 働きたくても働けない、

ションがうまくとれない」な る」、「他の人とコミュニケー 社会との関わりに不安があ 社会参加、就労への第一

ムを作成して頂き、講師も研究所で年間のカリキュラは、SCSカウンセリング ていただいています。学習会

をはかっております。そし会員同士の話し合い、交流の学習」が中心で、その他でいます。運営内容は、「親 世話人など18名で取り組ん副会長、会計、監査、書記、 いつも「とにかく子どものが中心です。桝田宏子先生は、派遣していただいているの されます。 が最も大切な事です。」と話 姿勢で向き合い、取組むか回復には、親がどのような ト・ペック著より)を紹介し、 「「愛と心理療法」M・スコッ

> 行きの不安もあります 親も子どもも高齢化して先

ひきこもりからの正社員化実績多数!

安心の5ステップで、無理なく正社員を 目指せます。ひとりひとりの成長に合わ 働ける心と身体の準備をします。

きらりの無料ものづくり研修は

まずは1日体験コースから試せます。 自分で作ったロボットストラップを

お土産にプレゼント!

→詳しくは

~2回開催しております。当その他講演会などを年間1

年5月に設立されました。 の静岡県支部として平成

りません。

今は出す

来て お

以来、今日まで「毎月第2

曜日を例会日」として定め、

事者の居場所も数年間開

を培うために、自己を拡げよ もの健全な求めに応ずるに では、愛とは・・「自分自身 うとする意志である」「子ど あるいは他者の精神的成長 そして今年6月の学習会

機関にも配布させていただ

て、機関誌「いっぷく会便り」

いています。

今年はホームページも

じられずにいたりとの状況関に回されたり、相談に応

るワンストップの機能があな相談でも断らずに対応す総合相談窓口では、 どん ります。まず困りごとや相 が共に考えて行動する仕 して行っていくか、相談員 で適切な対応をどのように 談ごとを聞いて、その内容 供を行います。

〇ひきこもり本人・家族に

の目指すところです。

業が期待されています。そにおいては様々な支援の事生活困窮者自立支援制度 どんな対応ができるの? もあります。

合相談窓口によっては対応

していない場合もあります。

とについてご相談に応じて 含む)来所でも、現在抱え 電話でも(メール、FAX せをしても相談に応じてい けでなく、家族が問い合わいます。ひきこもり本人だ ている様々な問題や困りご 「自立相談支援事業」では

体的な就労に向けての相談 きかけの相談に応じますし、 会参加に向けての様々な働 就労訓練事業」ではより具 就労準備支援事業」で社

での管理が

親も子どもと共に変化し成 るものも変わっていくから、 長せざるを得ない。(以下略) 悩を自ら引き受けようとす たちはたえず成長し、求め 親になることができる。子供 ならない。その変化に伴う苦 初めて子どもの求める だきました。 してきます。」と教えていた うすれば必ず子どもは回復 続することが大切です。そ ひきこもりも長

求に応えられるように、自考え方、行動を子どもの要 うとしてもそれはできませ 直そうと思って来ているで ん。自分を変えることが大 しょうが、子どもを変えよ 皆さんも、最初は子どもを ない」という気持ちで取り より「年をとってはいられ す。ありがとうございます。 毎月学習させて頂くことに KHJ静岡県「いっぷく会」・父親 いただいておりま

向けた基礎能力を養いなが ら就労相談や就労機会の ログラムにそって、 直ちに就労が困難な方 から1年の間、 払い続けられるまでの一時援事業」や就職後に家賃を 談支援を行う「家計相談支できるようになるための相 的な住居確保の相談に対応

などもございます。

(いわゆる「中間的就労」)に実施する、就労訓練事業けた働きかけを中・長期的グラムに基づき、就労に向 がら、個別の就労支援プロ ますが、その他の事業は総ての総合相談窓口で実施し居確保給付金の支給」は全※「自立相談支援事業」「住 用意され、住み慣れた地域で 状況に応じて様々な事業がひきこもり本人の状態や く体制を整えていくのです。 生活全般を支え対応して

が期待されていること 〇この制度でドHJ(家族会)

寄り添うきめ細かなサ

を行える組織であると行政 はそのような支え合う活動 対応の仕組みの中で、KHJ

らではの当事者からの視点家族会ではご本人・家族な や関係機関に示しています。

て下さい。そしてこれを継 分を拡げてゆく、そのため 生活できるよう支え合うた住み慣れた地域で安心して に学習会に来ていると思っ 厚生労働省はひきこもりめの活動を」 ひきこもり本人や家族が、

しています。自立相談に携こもりガイドライン」を策定 号でご案内した通り、「ひきさらに本部では旅立ち77 様々な取り組みがなされてや農園活動など、各支部で 活動に、福祉医療機構から社今年度は17支部の居場所 わる支援者や関係者に向け おります。 けられることになりました 会福祉振興事業の助成が受 家族支援の理念やノウハ て、これまで取り組んできた (WAM助成)。パソコン教室

を含めたガイドラインです。 が期待されています。

でいるピアサポーター養成平成25年度から取り組んされているということです。 もり本人・家族が安心しているのです。それはひきこれまでの実績が評価されて るための様々な取り組みに、地域で生活できるようにな 他機関との連携などの様々の相談・訪問や居場所の運営、 ひきこもりの家族や本人に り地域支援センターや総合 研修派遣事業では、ひきこも 家族会が事業体組織として 本人や家族を支えてきたこ 相談窓口との連携のもとで、 取り組んでいくことも期待 な取り組みを行ってきまし 家族会が、ひきこもり

談窓

支援の大切さを知って 理解と本人と家族に向

Jが、より地域に根付いてつ一つの積み重ねが、KHこういった取り組みの一 解され、その活動内容を本してKHJの事業が広く理 ためにも、住み慣れた地域れようとしています。その 中でより明確に位置づけら生活困窮者自立支援制度の さに取り組んでいることが、 いただくことが必要です。 人や家族、他機関に知って における有用な社会資源と このようにKHJが今ま

「きらりものづくり研修」 で検索してください。 TEL: 044-281-6651(担当:宇土 川崎市川崎区江川 1-9-12 ものづくり企業への就職をサポートします。株式会社 きら 1 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

SCSカウンセリング研究所 〒170-0002 東京都豊島区巣館3-1-4 JR巣館駅徒歩5 TEL: 03-3918-0655 FAX: 03-3918-787

TEL: 03-3918-0655 FAX: 03-3918-7873

メールアドレス:scsikeda@t.toshima.ne.jp ホームページ:http://www.scsself.com



予約・お問い合わせ: 03-3918-0655

NAGAOKA KOKORO CLINIC ながおか心のクリニック

- ★ストレス外来・ひきこもり外来・アルコール予防外来・摂食障害外来
- ★KHJ長岡フェニックスの会:家族会 会場 居場所、パティオ、テラコヤ、パソなび、NABA ★断酒ミーティング;外来そく断酒会、外来そくAA

〒940-0082 新潟県長岡市千歳1丁目3-42 ながおか心のクリニック 中垣内 正和 tel:0258-38-5001 fax:0258-38-5002

当クリニックは、社会参加を目標にします。

2001年7月15日、前代200ホテルで懇談、私が「活家である奥山さんの「ひき演の終わりで、「名古屋に支演の終わりで、「名古屋に支演の終わりで、「名古屋に支流の終わりで、「名古屋に支流が、大が、「おけいのです。奥山さんの「ひき」と呼び掛けられ、近くのホテルで懇談、私が「おけいのである。 当時、息子は私を「殺したしこの会を立ち上げました。 とのこと。私は、すばらし 私のKHJとの関わりは、にありがとうございました。 人もいるもんだな、と感動し、 も一杯ありました。本当来ない嬉しい事・楽しい 年8月25日、 と聞くと「土地と そのお金で・・・

望や元気が生まれる内容に①当事者や家族の方々に希私が心がけた紙面作りは、 年(H25)に「旅立ち」任者の境先生から2013 にわたって編集を担当しま する事になりました。私は前 局にバトンタッチ 68号から78号 まで11号 の編集を が我が家に来るようになり息子が東京に行ったり、彼女息子が東京に行ったり、彼女トで東京の女性と知り合い、



進

を傷つけた事に気づき、苦難 が出来るようになりました。 の自己変革。そして数年た

その頃、息子はインターネッ

ます。

が集まる本部が『旅立ち』を発行しては?」との声を受け、厚くお礼申し上げます。伊藤進前編集長から「一番情報 バトンを受け継ぐことになりました。前編集長が大切に さまと共につくり上げた「旅立ち」となりましたことを してきた「本人や家族の方々に希望や元気が生まれる_ 各支部の方々からも記事をいただけて、支部の皆ていければと編集企画をしてい 施策の動き・お互いの支部活動紙面デザインも一新し、本部や局が発行することとなりました。 うという家族会の理念を反映しを紹介し合う中で、共に支え合 「旅立ち」を本部事務

彼女は「東京に来て」と言い、独女は「東京での母子暮らしのり、東京での母子暮らしのり、東京での母子暮らしのり、東京での母子暮らしのり、東京での母子暮らい時で出かけ、とても楽しい時ではない。私と妻も一緒に、音 京暮らしに自信のない息子とまらず。2007年、東息子は「愛知で」と話がま した。そうした日々が約3ヶ意のどん底に叩き落されま 私は、息子を亡くして、生は死を選んでしまいました。 失

支部を紹介する、などです。の支援と連携を、③進んだを理解して頂き、より一層

多くのご協力を頂き、文章に

各支部の皆さんには

国のひきこもり支援事業 も年々充実し嬉しい限りですが、心配な事もあります。 奥山さんのご家族のこと、 やお子さんの事、高齢で体力が減退している支部のこと、 をした生活が続いている支 とした生活が続いている家 とした生活が続いている家 たのこと、などなど。これまでの たかせません。これまでの なれています。 最後に、KHJの役員体制 について。奥山さんが亡くな たれています。 について。奥山さんが亡くな たれています。 しい事ではありません。勿論、比率が下がっており、望ま本部理事会に占める家族の まで逃げる事が出来ません。もなく大切ですが、親は最後支援者のご協力は言うまで

月例会に参加して気持ちを楽にしたり情報交換しませんか

☆☆親の会(月例会)問い合わせ先(2015年11月1日現在)

東北・北海道ブロック(8支部)

KHJ 北海道「はまなす」(北郷恵美子)

〒 064-0824 札幌市中央区北四条西 26 丁目 3-2 ☎ 090-3890-7048 ☎ &Fax 011-631-0981

NPO 法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会 (泉 勝夫) 〒 020-0873 岩手県盛岡市松尾町 19-8 ☎ 019-605-8632 FAX 019-605-8633

KHJ 青森県 「アップルの会」 (川村克彦) ☎& FAX 0178-88-5297 <u>〒 039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西 5-9-1634 サンパウス内</u>

KHJ 青森県「さくらの会」(下山洋雄)

〒 030-0844 青森県青森市桂木 3-25-10 ☎ 090-8613-5561 Fax 017-723-1754

NPO 法人 KHJ 宮城県「タオ」(武田和浩)

〒 987-2183 栗原市高清水袖山 62-18

Fax 0229-87-3449 **☎** 080-3193-6715

NPO 法人山形県「から・ころセンター」(伊藤正俊)

〒 992-0026 米沢市東 2-8-116 ☎ &FAX 0238-21-6436 KHJ 秋田県ばっけの会 (本部) 東京都豊島区巣鴨 3-4-4 (本部内) ☎ 03-5944-5250 Fax 03-5944-5290

KHJ 福島県花ももの会(千葉桂子)

〒 960-8066 福島県矢剣町 22-5 NPO 法人ビーンズふくしま内 ☎ 024-563-6255 Fax 024-563-6233

関東ブロック(12支部)

NPO 法人楽の会リーラ(市川乙允) ☎ &Fax 03-5944-5730 〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-16-12 第二塚本ビル 202

KHJ 西東京「萌の会」(須賀 啓二)

〒 121-0064 東京足立区保木間 2-8-13

FAX 03-3883-2358 (TEL は無し) NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会(田口ゆりえ)

〒 331-0805 さいたま市北区盆栽町 190-3 **☎** &Fax 048-651-7353 **☎** 080-3176-6674

NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会(藤江幹子)

〒 260-0042 千葉市中央区椿森 1-2-2 志村荘 201 ☎ 070-2191-4888 FAX 043-294-7629

KHJ 神奈川県「虹の会」(安田賢二) ☎ 080-2107-1171 〒 221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 12 階 ボランティアセンター気付 No. ②

NPO 法人 KHJ とちぎベリー会(齋藤三枝子)

〒 321-0954 宇都宮市元今泉 5-9-7 宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ内 2F ☎ 090-1846-4004 FAX 028-663-5022

グループコスモス(瓜生 武)

〒 145-0066 東京都大田区南雪谷 2-11-5

☎ 080-3255-4161 ☎ &FAX 03-3728-4488

KHJ 茨城県「ひばりの会」(荒井俊)

〒 271-0064 松戸市上本郷 857 北松戸成川ビル3F フレンドスペース内

☎ 047-364-7332 Fax 047-362-4065

KHJ 山梨県「桃の会」(篠原博子)

〒 409-0126 山梨県上野原市コモアしおつ 1-4-3

☎ 0554-66-4073 090-6190-8677

KHJ 静岡県「いっぷく会」(上杉博美)

☎& Fax 054-245-0766

〒 420-0884 静岡市葵区大岩本町 25-2

KHJ 群馬県「はるかぜの会」(榎本明)

〒 370-0126 伊勢崎市境下武士 2551-1 ☎ 080-3727-8726

KHJ 長野県「らい鳥の会」(榎本 明)

〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4 (本部内)

☎ 003-5944-5250 Fax 03-5944-5290 (本部電話)

東海ブロック(6支部)

NPO 法人 なでしこの会(大脇正徳)

〒 456-0032 名古屋市熱田区三本松町 15-13 神宮東セブン A2 階

☎ &F_{AX} 052-882-1119 **☎** 090-4195-2674

みえオレンジの会(堀部 尚之) **2** 090-6469-5783 〒 514-0009 三重県津市羽所町 700 アスト津 3F 県民交流センター内

NPO 法人名古屋オレンジの会 (山田孝介) ☎& Fax 052-459-5116

<u>〒 453-0015 名古屋市中村区椿町 19-7 チサンマンション椿町 304</u> 豊田大地の会(酒井信夫)〒470-1211 豊田市畝部東町上梅ノ木 12 **☎** 0565-21-0177

KHJ 岐阜県「鵜の会」(伊神 亮) 🕿 090-8073-7045 <u>〒 453-0015 名古屋市中村区椿町 19-7 チサンマンション椿町 304</u>

NPO 法人 てくてく(山本洋見) ☎ 053-442-6365 〒 432-8054 静岡県浜松市南区田尻町 208-2 ☎ 090-1416-6224

北陸ブロック(フ支部)

NPO 法人 KHJ にいがた「秋桜の会」(三膳克弥) 〒 950-0167 新潟県新潟市江南区五月町 1-2-9 ☎ 090-8873-4453 ☎ &Fax 025-382-6912

KHJ 長岡フェニックス (斎藤 紀子) 〒 940-0082 新潟県長岡市千歳 1-3-42

☎ 0258-38-5001 Fax 0258-38-5002 ながおか心のクリニック内

KHJ 北陸会(所田澄子)

〒920-0813 石川県金沢市御所町丑 57 ☎ &Fax 076-252-4856

とやま大地の会 ☎ (米谷貞吉) 090-5682-4921

<u>〒 939-2304</u> 富山市八尾町黒田 3376-1

KHJ 福井すいせんの会(近藤 茂樹) ☎ &Fax 0776-34-1470 〒918-8057 福井県加茂河原 1-5-10

KHJ はぁとぴあ家族会(高和洋子)

〒 933-02357 射水市海老江練合 169-32

☎ &Fax 0766-86-3891

KHJ 石川県南加賀支部 いまここ親の会(林昌則) 〒 922-0000 加賀市山中温泉市谷町イ 47

2 070-5633-2667

近畿ブロック(5支部)

NPO 法人京都オレンジの会(稲垣 緑)

〒 605-0028 京都市東山区三条通大橋東分木町 74-3 東山三条ライフステーション ☎ &Fax 075-752-0289

NPO 法人大阪虹の会(前川 実) ☎ &FAX 072-265-2021 〒 592-0011 高石市加茂 1-13-26

NPO 法人 KHJ「つばさの会大阪」(大塚 洋) 〒 573-0027 枚方市大垣内町 1-3-1 マインドビル4F

☎ 090-4308-4259 **☎** 072-844-2423 KHJ 情報センターふきのとう姫路(櫛橋行雄) 〒 670-0896 兵庫県姫路市上大野 1-11-6 FAX 079-224-5259 2090-5046-7134

兵庫県宍栗支部 ひまわりの家 家族会(松本 むつみ) 〒 671-2552 兵庫県宍栗市山崎町段 194-1

☎ &Fax 0790-65-9205

中国ブロック(5支部) KHJ 岡山きびの会(槌谷富子) ☎ &Fax 086-262-9335

〒 702-8022 岡山市南区福成 1-128-4

【本部事務局】 全国引きこもり KHJ 親の会 (家族会連合会) ☎ 03-5944-5250 Fax 03-5944-5290 info@khj-h.com 〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4

KHJ 福山「ばらの会」(中村 友紀)

〒 720-0031 福山市西町 1-1-1 リム・ふくやま 7 階

2 090-4655-3358

KHJ 山口県「きらら会」(上田十太)

☆ &FAX 0837-22-5495 〒 759-4102 長門市西深川 2850-3 KHJ 広島もみじの会(藤岡 清人)

〒 731-5137 広島市佐伯区美の里 2-1-39-801 (岡本方) ☎ 090-7375-6659 ☎ & FAX 082-924-2922

KHJ 鳥取県らくだ会(田中隆雄)

〒680-0074 鳥取市卯垣 5-60-F-4 ☎ 090-4653-2554

四国ブロック(4 支部)

NPO 法人 KHJ 香川県オリーブの会(川井富枝)

〒 761-0104 高松市高松町 2574-9

☎ &Fax 087-843-9877 ☎ 090-4332-3288

KHJ 徳島県「つばめの会」(高橋浩爾)

〒 776-0014 吉野川市鴨島町知恵島 372-6

☎ 090-1325-2740 **☎** &Fax 0883-24-0507 KHJ 高知県親の会「やいろ鳥」の会(坂本勲)

〒 781-8131 - 高知県高知市一宮しなね1丁目 14-10-1

☎ 090-3184-8109 Fax 088-862-0740

KHJ 愛媛県こまどりの会(武田邦寛)

〒 791-8012 愛媛県松山市姫原 2 丁目 7-33 サントノーレ姫原 505

☎ 090-7578-4214 Fax 089-923-3367

九州・沖縄ブロック(8 支部)

KHJ 福岡県「楠の会」(吉村文恵)

〒810-0003 福岡市中央区春吉 1-7-18 竹内ビル 2F

☎ 090-8222-7403 ☎& FAX 092-731-3091

NPO 法人熊本ブランチ(武井敬蔵)

〒860-0072 熊本市花園 7-2435-12

☎ 096-322-3548 FAX 096-322-3787

KHJ熊本県「りんどうの会」(事務局)

〒869-0623 熊本県宇城市小川町川尻390-2 電話 090-5388-98/4

KHJ みやざき「楠の会」(植田美紀子)

〒880-0944 宮崎市江南 4-9-9 植田方

☎ 090-9603-8780 ☎ &FAX 0985-53-2666

KHJ 大分県「大分ステップの会」(松本太郎) 〒879-5102 由布市湯布院町川上3604-14

2 090-1163-8582 KHJ 鹿児島家族会(事務局)

〒 170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4 (本部内)

☎ 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 (本部電話)

KHJ沖縄「てぃんさぐぬ花の会」(平良 玲奈) 〒 902-0072 沖縄県那覇市真地 456-58

地域子ども・若者プラザ(UTT内) ☎ 070-5277-2036 FAX098-894-3344

KHJ 石垣島ピパーチの会(町田弘樹)

〒 907-0022 沖縄県石垣市大川 213-1 3F ☎& FAX 0980-87-0146